

2014 年 JEAN 活動報告「海ごみ問題解決に向けた取り組み」



◆海ごみサミット山形・庄内会議

第12回目となりました2014年の海ごみサミット（2014年7月）は、山形県の酒田市飛島と鶴岡市で開催されました。今回のサミットでは、河川を通じて海洋に流出する内陸部からの生活ごみ対策の現状と課題、特に内陸部での対策の進捗状況などについての情報の共有と促進を目指しました。またこれに合わせて連携開催ワークショップ「河川流域と一体となった海洋ごみ対策」を開催し、森・川・街・海での一体的な取り組みへの普及、拡大に向けての検討も行いました。



◆新【漂着物のトランク・ミュージアム®】完成

1990年、JEANによって日本で初めて開催された国際海岸クリーンアップ（ICC）は、今年で25年目を迎えました。これを記念して JEAN では、日頃から環境への配慮を重視しながら活動を行っている企業や組織、アーティストなどと連携し、きれいな海や川、ごみのない街や山を取り戻していくための取り組み「クリーン・ジャイヤ・プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトの一つとして、エース株式会社提供のリサイクルトランクで休眠中だった【漂着物のトランク・ミュージアム®】が再開！トランクの外側は、アーティスト カザマナオミさんのアートで彩られています。

※クリーン・ジャイヤ・プロジェクト (Clean(きれいな) Gyre(渦巻き) Project(プロジェクト))



◆2014年北太平洋における震災起因漂流物等に関する取り組み

日本政府は、被災地から流出した漂流物の一部が北米大陸の西海岸地域に接近し、その一部が漂着する可能性があるとして予測しました。そこで JEAN では、2012年から米国オレゴン州、ハワイ州、アラスカ州、ワシントン州、カナダ/ブリティッシュコロンビア州を訪れ、現地の NGO 関係者や住民との意見交換や海岸の視察などを実施してきました。2014年は、環境省からの支援による活動のまとめとして、カナダ/バンクーバーと宮城県名取市で、これまでの取り組みを報告するためのシンポジウムやワークショップを開催しました。またハワイ州などで発見された漂着物の情報から、その持主を探し出し、返還につながった事例もありました。



◆「美しい海をこどもたちへ

ー東日本大震災に起因した漂流物と海ごみ問題ー 写真パネル

震災起因漂流漂着物は最近ほとんど話題に上らなくなりましたが、流出したものの多くは現在も海洋中にあるとみられ、従来からの海洋ごみ問題と同じような経過を辿ることが心配されています。この12枚一組のパネル（A1版）は、JEANが中心となって2012年から実施してきました震災起因漂流物についての調査活動の様子を紹介するとともに、そこから見てきた現在の海ごみ問題について再提起する内容です。貸出料 2,000 円（税別）と往復送料の実費負担で貸出しをしていますので、ご希望の方は JEAN までお問い合わせください。

◆ JEAN のウェブサイトの情報 ◆

“美しい海を子どもたちへ” JEAN / 一般社団法人 JEAN のウェブサイト

<http://jean.jp/>

JEAN STORE / JEAN が製作した資料や推薦グッズの販売サイト

<http://www.jean-store.jp/>

海ごみプラットフォーム・JAPAN / JEAN が運営する海ごみ情報の共有サイト

<http://malipjapan.jp/>

海ごみプラットフォーム・JAPAN (facebook 版)

<http://www.facebook.com/malipjapan>



後援：海上保安庁・環境省・国土交通省・水産庁

協賛：(株) アルパローザ・弁護士 大橋俊明・(株) ゴーフィールド・(株) ゴールドウィン・三和グループ社会貢献倶楽部・

(株) 大伸社・パタゴニア日本支社（環境助成金プログラム）・(株) 丸紅フットウェア（パタゴニアフットウェア）・

GREENSTYLE 基金・Ocean Conservancy・Seafrogs.info（海技士口述試験問題集）(50 音順)

発行：一般社団法人 JEAN

〒185-0021 東京都国分寺市南町 3-4-12 マンションソフィア 202 TEL：042-322-0712 FAX：042-324-8252

E-mail cleanup@jean.jp Website <http://jean.jp/>

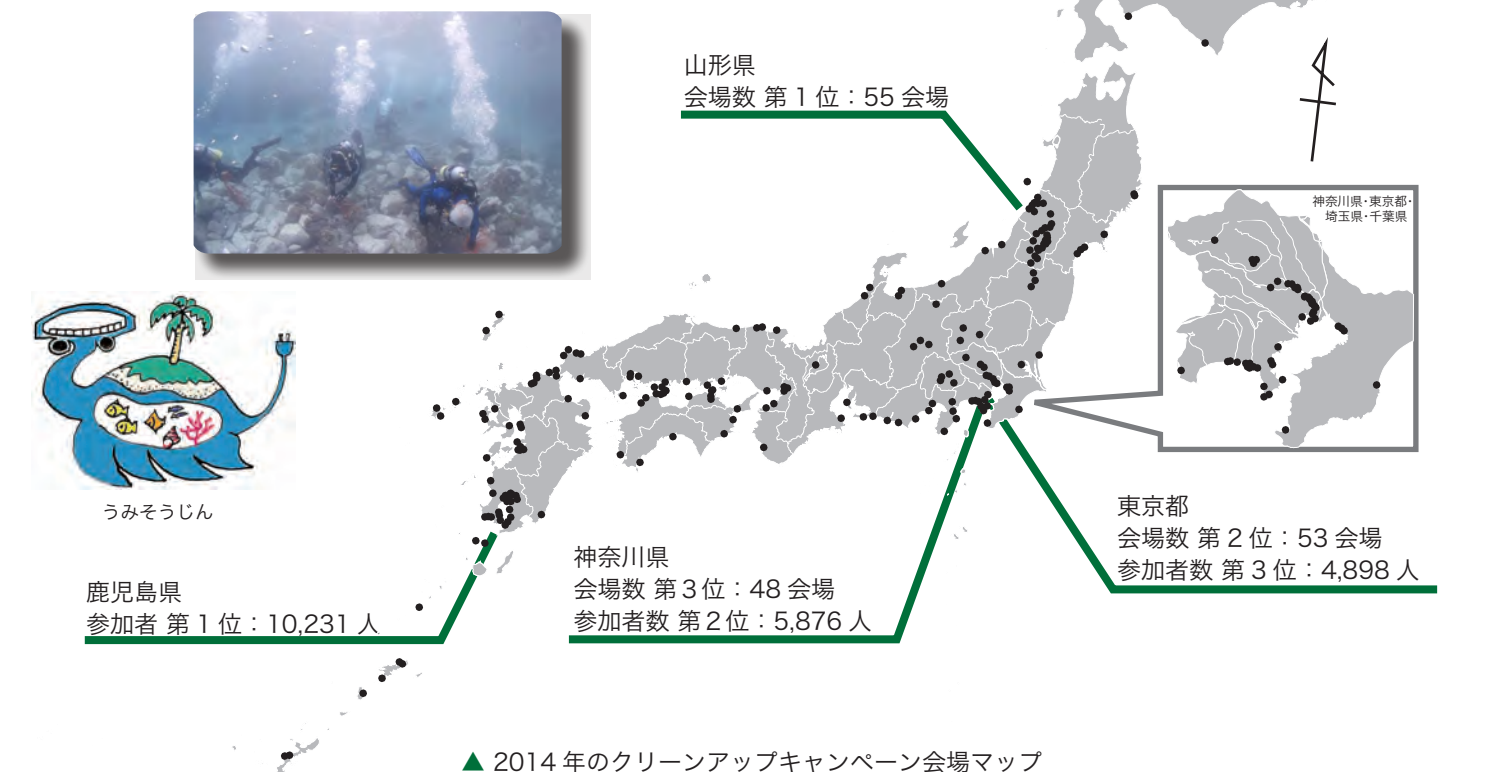
International Coastal Cleanup 2014

国際海岸クリーンアップ 2014 結果概要



クリーンアップキャンペーン全体報告

2014年のクリーンアップには、北は北海道から南は沖縄県まで361会場に延べ34,539人が参加し、208kmの海岸、河岸、湖岸、水中および内陸から、96トンのごみを回収しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



国際海岸クリーンアップ (International Coastal Cleanup : ICC) とは

海のごみ問題は、拾うだけでは決して解決しません。それはいくらごみを回収しても、新たなごみが繰り返し発生し、漂着するためです。「国際海岸クリーンアップ (ICC)」(実施期間：9～10月)は、アメリカの環境 NGO オーシャン・コンサーバンシーが提案する世界共通の手法で、ごみの内容を調査し、ごみの問題点を参加者一人ひとりに気づいてもらいながら改善するための方策を探る活動です。これから先もずっとごみを拾い続けるのではなく、私たち自身がごみを減らさなければ海ごみ問題は解決しないことを、参加者一人ひとりに理解してもらうことが目的です。